

令和7年度 神奈川大学の留学生との交流会について

1 交流会の概要

本校は神奈川大学との間で高大連携の協定を結んでおり、本校生徒と神奈川大学の留学生との交流事業は4年目を迎えた。参加生徒を募り、事前に指定したトピックについてプレゼンテーション資料を準備し、神奈川大学で大学やキャンパスについての説明を受け、神奈川大学で学ぶ留学生と日本の文化や生活について話し合う交流会を行ってきた。

(1) 実施日時 令和7年11月21日（金） 14:00～16:20

(2) 実施場所 神奈川大学 みなとみらいキャンパス

(3) 時程の詳細

14:00 神奈川大学みなとみらいキャンパス1F集合

14:05～14:20 (15) オリエンテーション

14:20～15:10 (50) キャンパスツアー

15:10～15:20 (10) 休憩

15:20～16:10 (50) 留学生交流

16:10～16:20 (10) アンケート・解散

(4) 参加生徒の人数など

本年度は全校生徒に募集をかけ、国際交流に興味のある1・2年生総勢19名が参加を希望した。当日インフルエンザの流行により体調不良者が多く13名での参加となったものの、大学生によるキャンパスツアーや各班ローテーション形式での交流は、生徒の進路に対する意識や海外への興味を高める貴重な機会となった。

2 英語での交流

生徒を事前学習で5班に分け、班ごとにプレゼンテーション内容を決め、発表用スライド等を作成、英語によるプレゼンテーションのリハーサルを行った。

(1)用意したプレゼンテーションのテーマ

- ・グループ① 「日本のスポーツ」
- ・グループ② 「日本の学校生活」
- ・グループ③ 「日本のアニメ」
- ・グループ④ 「日本の文化・伝統行事」
- ・グループ⑤ 「日本の食べ物」

(2)事前学習会

- ・11月10日（月）、11月17日（月）、11月19日（水）に実施した。
- ・11月10日（月）はグループ分けを行い、各班で発表したいトピックを決めた。次回の集まりまでに発表内容を決め、スライドを作成するよう指導した。
- ・11月17日（月）は発表スライドの内容を確認し、グループで発表しあうことで、イントネーションや発音をより工夫するよう指導した。
- ・11月19日（水）のリハーサルでは、英語によるスライドの説明に慣れる練習を行うとともに、交流会当日の時程の確認を行った。

(3)交流会当日の様子

- ・交流会の前半は、大学での学びと神奈川大学についての説明を受け、学生ガイドによるみなどみらいキャンパスのキャンパスツアーパートに参加した。

・交流会においてはロイロノートで作成したスライドを見せながら生徒が日本の文化や食事などに関して発表を行い、その後質疑応答やフリートークを行った。海外に関心の高い本校生徒、日本に関心のある留学生ということで、話題は食文化、流行、言語等多岐にわたり、大いに盛り上がった。生徒にとっては用意した英語を話すのではなく、その場で聞き取り、その場で英語を考える展開となつたが、よく頑張っており、英語で十分に交流できていた。交流会の実施後、生徒に交流会の振り返りアンケートを実施した。

「キャンパスツアーの説明の様子」



「留学生との交流の様子」



3 事後の振り返り

【交流会の振り返りの主な回答】

●生徒 A

最初は緊張して間をつくってしまったり、内容を忘れたりしてしまいましたが5回回るうちにだんだん慣れてきて留学生の方が温かくきいてくださったので、落ち着いて発表できるようになりました。元々予定していなかった質問をその場たくさん作って、グループの人に助けてもらいながら留学生の皆さんことを知ることができました。文法がおかしい部分もたくさんあったと思うのですが、みなさんが傾いて聞いてくれたり理解するために質問をしてくれたり、言語の壁を越えてその場にいたみんなが相手を理解しようとしていたことが印象的でした。英語や異文化についてもっと知識を広げ、たくさんの人とコミュニケーションをとれるようにしたいと思いました。

●生徒B

海外の方と交流して、とても新鮮で楽しい経験になりました。最初は英語で自分の気持ちをうまく伝えられるか不安でしたが、相手がやさしくうなずきながら聞いてくださったので、次第に緊張がほぐれていきました。会話をしていく中で、「日本とはこんなに違うんだ」と思う場面もあれば、「こういうところは同じなんだな」と感じることもあり、とても興味深かったです。今回の交流を通して、もっと英語を上手に使えるようになりたいと強く思いました。これからもいろいろな国の人と話してみたいという気持ちが大きくなりました。

●生徒C

多国籍の人と同時に関わりやコミュニケーションを取るのは初めての機会でしたのでとても新鮮でした。自分が伝えたいことに対して半分ほどしか伝えることができなかつたので、文法力と語彙力について改善が必要だと感じました。スピーチング能力についてですが、これは主に応用力だと考えているので、その点はリスニング能力と合わせて練習できるかと思います。単語がスッと出てこなかったり文法が無茶苦茶になったりと今回は反省する点がたくさんありました。ですが、会話を維持、楽しむことができたのはとても良かったです。

●生徒D

日本の文化を紹介するのを通じて、文化の違いや何が有名かなど相手の国について知ることができとても楽しかった。相手の文化のことをよく知るには日本の文化のこともよく知っていないと話せないと感じた。また今回様々な国の人人が参加していて、第一言語が英語でない人もいたので英語を話すことによりコミュニティーがより広がると実感した。

●生徒E

キャンパスツアーがとても具体的でとても良い経験になりました。英語での会話や日本の事の説明もしやすく、思っていたより反応も良くて楽しかったです。また機会があれば行ってみたいと思いました。

4 今後の展望

生徒は普段、英語を学習する時間が多く、プレゼンテーションコンテスト等で英語での発信する力 (Production) を伸ばしている。一方、即興型(Interaction)の英語力に関しては自信のなさや交流の少なさにより課題が残っていた。今回この交流を通じて、自国の特徴や他国との共通点・相違点に気づいたり、間違いを恐れずに話すと自身の英語が伝わるという自信に繋がったりと、活き活きとした生徒の様子が見られた。また生徒の感想にもあるように、この交流をきっかけに、より英語の学習に力を入れたいと意欲が向上した様子も見られた。温かく生徒との対話に向き合ってくださった神奈川大学の留学生には大変感謝している。来年度もぜひこの交流を続けていただけるとありがたい。

「集合写真」

